

2020 (令和2年) 10月

一般社団法人codomotoままちっち
https://codomoto.jp/
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-7-12
TEL:050-3708-4807 (平日9:30~14:30)

子ども街新聞

子ども街新聞

Codomoto®

発行 ままちっち
mamachicki

協力:大阪商工信用金庫
後援:阿倍野区

まずは記者講座で「新聞ってどうやって作るの?」「記者のお仕事って?」など、新聞づくりの基本を学びました。「新聞にはどんなことが載っているか知ってる?」という質問には「コロナのこと」「事件!」「テレビの番組の表が載ってる!」などそれぞれが答えてくれました。

記者講座で 記者の仕事学ぶ

令和2年8月11日(火)・12日(水)の2日間にわたり、あべの筋にある「大阪商工信用金庫 阿倍野支店」にて「子ども記者プロジェクト」が実施されました。
プロジェクトには阿倍野区に住む小学4年生から6年生の計6人が参加。はじめての取材活動を体験しました。



6人の子ども記者のみなさん。



お金を数える機械は、にせ札もすぐに見分けると聞き、びっくり!

まずはふだん入ることのできない、銀行の裏側を見学。お金をあつという間に数える機械やお金を引きだす機械「ATM」の裏側まで見ることができ、みんなのテンションも上がりっぱなしです!
見学の後は、各チームに分かれて担当者への取材を実施。緊張しながらもしっかりとお話を聞き、最後は力を合わせて各チーム1ページずつの新聞づくりに取り組みました。次ページより各チームの記事を掲載していきます。

2日目はよいよ取材!

Kids Reporter
子ども記者
プロジェクト
実施!

お金クイズにチャレンジ!

続いては、大阪商工信用金庫の貴志さんと藤村さんによる「銀行のお仕事」講座です。「お金クイズ」でウォーミングアップ! みなさんもお金と銀行のお仕事についての下の問題にチャレンジしてみてください。(答えはこのページの一番下)

- Q クイズ
- ①1万円札で1億円の重さは何キログラム?
 - ②日本で現在使われているお金(お札とコイン)は何種類?
 - ③銀行は預かったお金をどうしているのでしょうか?

銀行のお仕事 & しゅみを学ぶ

その後、銀行の仕事の一つ「お金を貸す」というお仕事について、どのようになくみになっていくか、お年玉とケーキ屋さんを例にしてわかりやすく教えてもらいました。



めいしこうかん 名刺交換にもチャレンジ!



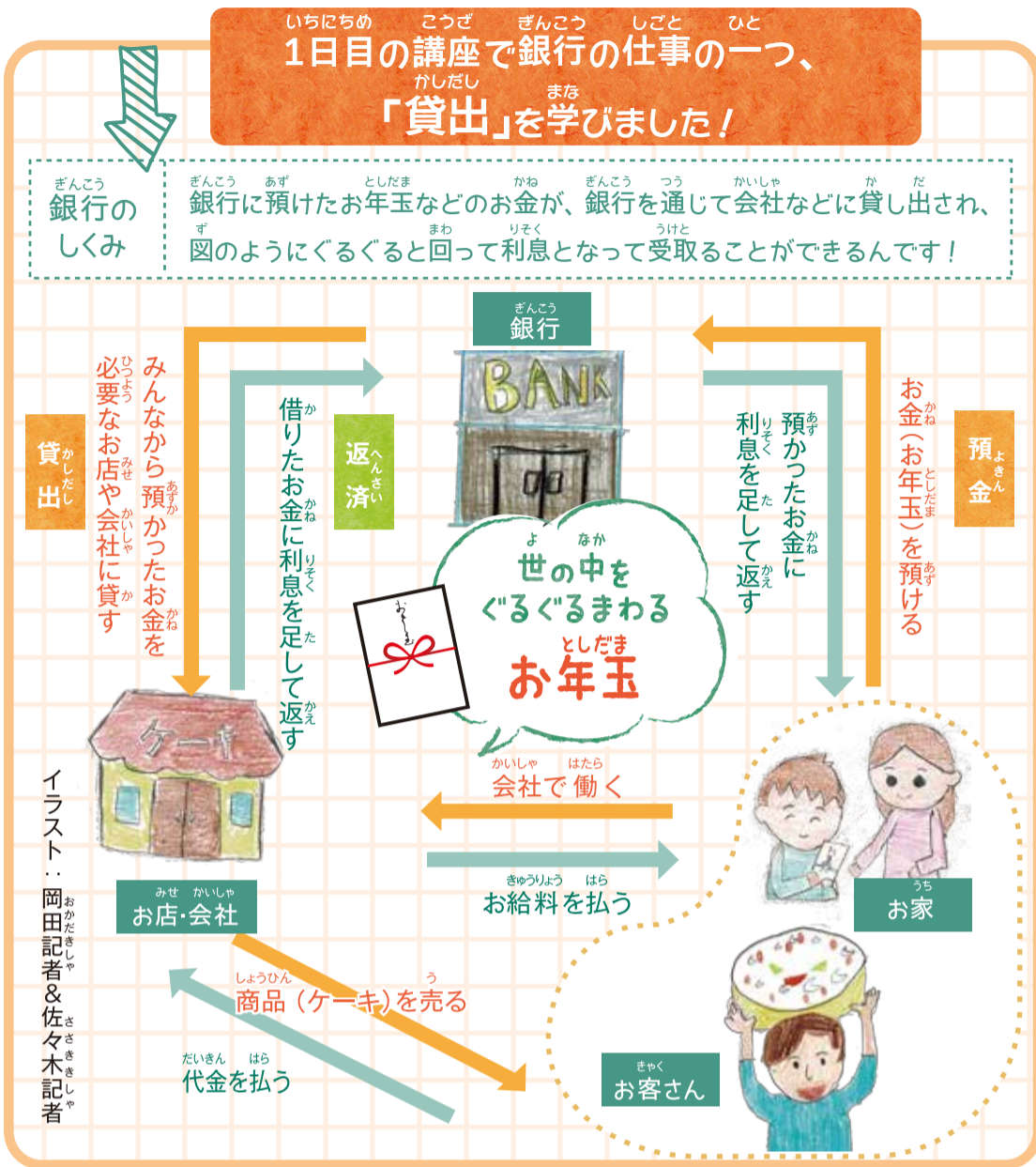
その場で出た疑問もしっかり質問。

3チームのテーマ

- A チーム 「貸出」のお仕事
- B チーム 銀行のうら側調査
- C チーム 支店長インタビュー

A お金クイズの解答

- ①10キログラム(1万円札は1枚1グラムなんだって!)
- ②10種類(お札が4種類、コインが6種類です)
- ③借りたい人に貸す(そのしゅみは2ページを見てね)



「貸出」のお仕事

「貸出」はどんな仕事かということ調べてみました。まずは、貸出のしくみを図で紹介します。取材には、おおさかしょうこうしんようきんこあべのしてん うえちはやと 商工信用金庫阿倍野支店の上地颯人さんと杉山祐介さんが答えてくださいました。

貸出のことについて聞いてみた。

大阪市阿倍野区にある大阪商工信用金庫の上地颯人さんに貸出のことを聞いてみました。貸出はお金が必要な人にお金を貸すことです。借りにくるのはお店、小規模な会社です。小規模な会社は10人くらいの会社と聞いていました。ほかに貸出を担当する人の仕事はお店や会社のところに

「貸出のしくみ」について聞いてみた。

「お金の足りるかどうか」といって、「お金足りませんか?」とたずねることです。また、借りたお金を返せないときは、どうしたら返せるか相談のついでに一緒に考えるそうです。阿倍野支店の貸出のお金の合計は150億円くらいだそうです。(文・岡田記者)

いろんな会社の社長さんに会える仕事

大阪商工信用金庫阿倍野支店の杉山祐介さんに貸出について話を聞きました。貸出の仕事とは、地域のお金を預かって地域のお店にお金を貸したり、家やお店をつくりたい人にお金を貸すことです。お金を借りるためにいろいろな会社の人があるそうです。食べ物屋さんが多いということですが、めずらしい会社では、花火を作る会社の方も来たりします。杉山さんは「いろんな会社の社長さんに会えるのが楽しい」と言っています。(文・佐々木記者)



取材に答えてくれた上地さん(左)と杉山さん(右)。お店や会社に貸出の相談に行くときはいつもバイクで。

「お金の足りるかどうか」といって、「お金足りませんか?」とたずねることです。また、借りたお金を返せないときは、どうしたら返せるか相談のついでに一緒に考えるそうです。阿倍野支店の貸出のお金の合計は150億円くらいだそうです。(文・岡田記者)

エーチーム
取材テーマ
「貸出」のお仕事

銀行にはいろいろな仕事があった!

貸出のことがすごくわかった。貸出はお客さまから(依頼)来ることもあるし、銀行から(提案)に行くことがあることがわかった。銀行にはいろいろな仕事があることがわかりました。



岡田記者 5年生

貸出のこと、初めて知りました

銀行のお仕事の一つ、貸出のことを初めて知りました。貸出は家やお店をつくる時に必要なことがわかりました。



佐々木記者 5年生

銀行のうら側をしてみよう

Bチーム

銀行のうら側調査

強盗犯への準備



これがカラーボールです。本当に投げたことはまだないそうです。



強盗犯がきたら阿倍野警察につながる専用電話機がありました。



非常通報は、支店内の何力所かに隠れておいてます。



日頃に入ることができない銀行の裏側を見せてもらいました。そして窓口で働く銀行員の方々に話を聞いてみました。

大阪商工信用金庫阿倍野支店では強盗事件は起きたことはないけど、それに備えてカラーボールや、非常通報などが設置されています。まずカラーボールは、投げたらボールが割れて液体が出てきてその液体

を追うことで犯人の逃げた方向がわかります。そして、非常通報は、押すと強盗のうしろで光がひかたり、110番通報ができます。

銀行のしごと

次に大阪商工信用金庫の池西友美さんと樋口星奈さんに、銀行のお仕事について話をうかがいました。

Q どんな仕事をしているか教えてください。

A 私たちはお店全体のお金を管理しています。窓口に来られたお客さまの受付もしています。お年玉の両替をしたりもします。

また、大阪商工信用金庫には一瞬でお金の数を数えられる機械があって、にせさも見分けます。

Q お仕事で失敗したことはありますか？

A みなさんの大切なお金を預かる仕事なので、少しの

失敗もできない仕事ですが…、あります。お客さまのお名前を間違えたり、ちがう金額をわたしたりしました。そのときは上の人に話して同じミスをしないようにノートに書いたりしています。

Q 1か月のお給料は、いくらぐらいですか？

A 池西さん…(ゲームの)Switchが5~6個ぐらい買えるかなあ…？

樋口さん…池西さんよりちょっと上なので、もう少し頂いているかなあ…？でも1年に2回ボーナスがあるので、Switchがかなり買えるそうです。



私たちの質問に答えてくれた池西さん(左)と樋口さん(右)。

(題字&文:嶋利記者/西野記者)

お金の大切さが改めてわかりました

私は、講座でお金の大切さがあらためてわかりました。はじめて、カラーボールの使い方も知りました。カラーボールは、特殊なしくみなんだなあ〜と初めて知りました。少し銀行員になりたいと思いました。



嶋利記者 6年生

たくさんの一万円札にびっくり!

1円玉が5000円分入っていた袋をも持つととても重かった。棚に1万円札がいっぱいあったのでびっくりした。お金を数える機械「パタパタ」を見たときすごいな〜と思いました。



西野記者 5年生

B チーム
取材テーマ
銀行のうら側調査

支店長に突撃インタビュー

シーム Cチーム 支店長インタビュー

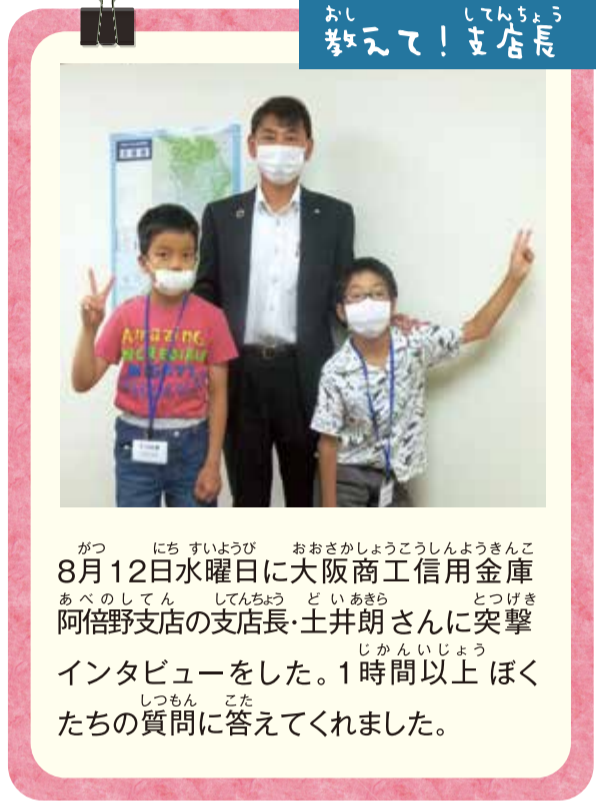
interview

支店長の仕事とは? CHECK!



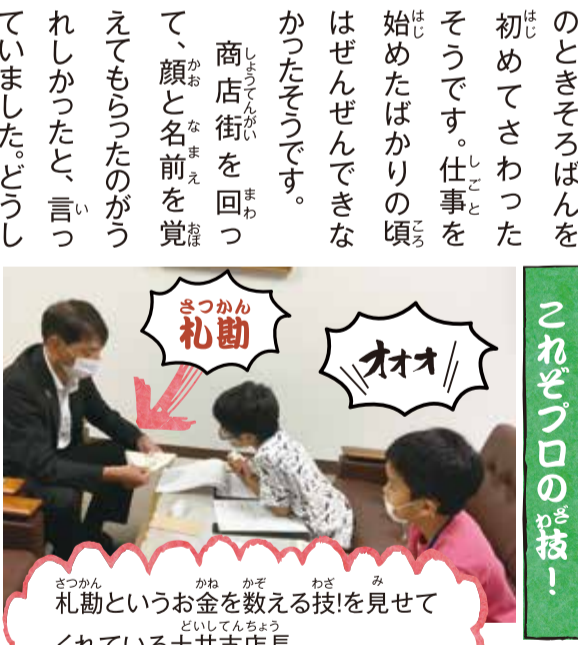
ゴオオオオ
熱血! 土井支店長は質問にびっくり答えてくれました。

大阪商工信用金庫の支店長さんにいろいろな質問をしました。銀行は必要なお金を貸す仕事があります。お金を貸すか貸さないかを最後に決めるのが支店長の仕事です。お客さんの大切なお金を預かるのでストレスがたまりませんが、失敗をおそれず、みんなの信用を得たり「ありがとう」と言われるのががんばろうと思おうです。休みの日はヴィッセル神戸の試合を見たり車でドライブをしたりするそうです。



8月12日水曜日に大阪商工信用金庫 阿倍野支店の支店長・土井朗さんに突撃インタビューをした。1時間以上 ぼくたちの質問に答えてくれました。

「銀行強盗が来たらどうするの?」と聞いてみると、「警察などといったしよに日々訓練を行っていると」ということでした。(題字&文: 石野記者)



札勘というお金を数える技を見せてくれている土井支店長。



写真を撮るのが楽しかった!
一番大変だったことは支店長の質問の答えをメモに書くことでした。楽しかったことはデジタルカメラで写真をとったりすることです。すごかったことはパタパタという音が聞こえるきかいがお金の計算をすることです。すごかったことは人間よりも早く計算をすることです。20秒くらいで計算が終わったことがすごかったです。



石野記者 4年生

金庫の中はまるで牢獄!?
今日一日で大変だったことは、支店長の話すスピードが速かったので、支店長の言ったことをメモするのが大変でした。びっくりしたことは、銀行の金庫に保管されていた1円玉五千枚の入った袋を持ち上げたとき、すごく重かったことです。金庫の中が牢獄の様だったので、びっくりしました。



山口記者 5年生

シーム Cチーム 取材テーマ 支店長インタビュー

(題字&文: 山口記者)